

ステージパフォーマンス



Handsome man&Beautiful Woman Contest 2010



ふれあい移動動物園



そのほかにも…



岡田光永講演
「大学生は旅に出る」



ドクターフィッシュ

高千穂祭を終えて……………第45回 高千穂祭実行委員長 小山拓也

第45回高千穂祭を振り返ると、あっという間の一年間の一年間でした。私たち高千穂祭実行委員会は、高千穂祭本番に向けてイベントの企画・運営をこの一年間行ってきました。

今年の高千穂祭実行委員会には多くの新入生が入り総勢60名を超える人数で活動してきました。しかし、全体を統率するにも2・3年生で18名しかおらず当初は苦勞しましたが、日々の活動を通じてまとまりが生まれ、皆で協力し団結したことで第45回高千穂祭は成功したと思います。

また、昨年よりも幅広い年齢層のお客様にお越しいただき、また子どもから大人まで楽しんでいただけるイベントを用意したことでより一層盛り上がったと思います。

本番では大きなトラブルもなく、また大勢の来場者の方々が高千穂祭にお越しいただけたことを、大変喜ばしく思います。

翌年度は、今年以上の高千穂祭が出来上がることをOB・OG一同期待しています。

「平成22年度評議員会・忘年懇親会」を開催する

高千穂学園同窓会事務局

12月4日(土)穏やかに晴れ渡った冬日和の中、上野不忍池を眼下に見下ろす「上野精養軒」にて平成22年度の高千穂学園同窓会評議員会と忘年懇親会を開催いたしました。

評議員会は、毎年1回以上評議員会を招集することになっており、午前11時から、学園から藤井理事長、大学から成田学長に来賓として出席頂きました。

最初に、福田会長から、現在全国に同窓会支部が27あり、各地で活発に活動をしていることや、大学支援事業では同窓会奨学金・クラブ支援を行っていることと、特に今回は在学生への就職支援体制を構築することについて卒業生の皆さんに運営の協力の要請をいたしました。

理事長は、11月30日開催の学園理事会・評議員会で平成23年度予算編成方針が決定したこととその内容の概要について、次に学長から、大学の学生募集の入試状況と就職状況について現況の報告があり、大学を取り巻く環境が厳しくなっているなか、学園の取り組みを説明いただきました。

評議員会は議長を選出を行い、福田会長を指名し議事に入りました。

議案は、1. 平成22年度同窓会上半期事業報告並びに中間決算報告、2. 全国支部高千穂会会長会議及び通信員会議の報告の2点について上程、審議の結果全て承認され、評議員会は終了しました。

同会場にて同窓会学友会優秀団体の表彰が行われ、これは同窓会の大学支援事業として学生の体育会・文連・ゼミナール

連合に所属するクラブやゼミナールの諸活動に奨励金を支給し支援しているものです。今回はバスケットボール部(体育会)、菌部ゼミナール(商学部)、小林ゼミナール(経営学部)の3団体に福田会長よりクラブ顧問・ゼミ指導担当教員と学生代表者へ、それぞれに奨励金を贈呈、学生代表から今後活動に一層励みますとお礼の謝辞がありました。

懇親会は、入場時には、ピアノ・バイオリン・チェロのアンサンブルの生演奏に迎えられ、同窓会会長・理事長・学長・父母の会会長による挨拶のあと、高松栃木県高千穂会会長の乾杯の発声で始まりました。

懇親会参加者は、小学校・旧中・高校・高商・経専・大学・大学院の卒業生と大学の教職員、幼稚園教員、父母の会役員の約100名でした。今春卒業した第58回生の参加もあり年代を超えた集まりになり同窓生の紹介や抽選会などのイベントやアンサンブルによる軽快なメロディーの流れる中、先輩・後輩の輪があちらこちらに広がっておりました。

楽しい一時が過ぎるのは早いもので最後にチアリーダーのリードで全員が校歌を斉唱し平成22年度忘年懇親会の幕を閉じました。

現在同窓会は、魅力ある同窓会を目指して活性化を図っております。卒業後は皆様に各種同窓会の行事案内をご案内いたしますので気軽に参加頂き、先輩諸氏と交流願えればと存じます。



父母の会

郷土企画 福島県支部「老舗太陽堂のむぎせんべい」提供 ～福島市内限定販売～

父母の会福島県副支部長 菊地美香

秋もたけなわの11月5日(金)、私たち父母会福島県支部の役員は、ひたすら東北道を往く。色づく那須連峰を見て、東北から出たことを実感し、そして宇都宮を過ぎ、山々が遠のき平地が続く風景を見て、東京へとぐんぐん近づいていることに心が躍りました。もうすぐ、子供たちに会える！

この日は、躍る親心を表わすかのように、颯爽とした秋晴れに恵まれました。

今回、提供させていただいたのは「太陽堂のむぎせんべい」です。昭和2年の創業からこのおせんべい一筋で、ネット通販が盛んである今の時代に、なんと福島市内でなければ購入できないという老舗のおせんべいです。

一見、南部せんべいに似ていますが、味にはほんのりとした優しい甘さがあり、噛めば噛むほどに味わいが広がります。

“おせんべい”という地味な感じで、もしかして、学生のみなさんの好みには合わず見向きもされなかったらどうしよう、という不安を抱きながら学食内で手渡しを始めました。

私たちの不安は、子どもたちの様々な笑顔によって一掃されました。はにかみながらも受け取ってくれる子どもたち。なんだろうこれ？というような表情をしながら手にしてくれる子どもたち。大歓迎！とばかりに笑顔全開の子どもたち。ときに、ほんの数人が素通りしてしまってしまったけれども(この時、お母さんお父さんは寂しい気持ちになりました)、「おいし



かったです！」と声をかけられたときには、もう泣きたいぐらい嬉しかったです。

おかげさまで、予想をしていた時間よりも早めに手渡しを完了。受け取れなかったみなさん、本当にごめんなさい。

久々に、さわやかな達成感を味わいました。同時に、父母会の一員であってよかったとの思いでいっぱいになりました。大学生の子どもたちと、こうして関わりが持てるという事は、本当に幸せなことであり貴重な時間の一つです。父母会を助けてくださった大学に、感謝いたします。そして、たくさんの素敵な笑顔をありがとう。



編集後記

▼新年あけましておめでとうございます。新年号のクォーターリー高千穂30号をお届けします。
▼今年は卯(兎)年でペットに兎を飼う人が増えているそうです。兎は愛らしく、癒されますが、実際に飼うには世話や餌代に病気の際の通院など、とても手間が掛かり途中で世話を放棄する人が少なからずいるそうです。卯年生まれの私としては兎は特に可愛がって欲しいと思う次第です。(私事です…) ▼大学では高千穂祭やゼミ発表会などの秋の行事を終え、1月は補講・定期試験が行われます。体調管理に気をつけて万全の態勢で試験に臨んでください。▼今年一年が皆さんにとって良い年となることをお祈り申し上げます。(編集室)

編集委員

●編集長 吉崎信彦
●委員 高橋 拓
深津 剛





喫煙に関するルールについて

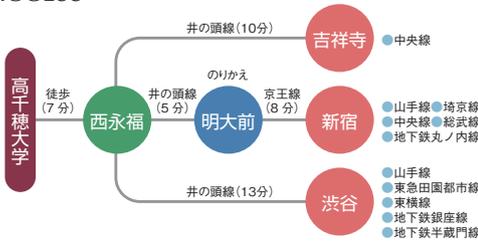
本学キャンパスのある杉並区では、条例により区内全域で、歩きタバコや吸い殻のポイ捨てを禁止(一部の路上禁煙地区では条例違反者から過料を徴収)しています。

本学においても、構内の指定された場所以外での喫煙は禁止とし、また、通学路等での喫煙についても歩きタバコや吸い殻のポイ捨てについては厳重に注意を与えています。

しかし、いまだにルールを守らない喫煙者が多く見受けられ、非喫煙者のみならず近隣住民の方々、ルールを守って喫煙している人にも多大な迷惑を掛けることとなっています。

高千穂大学の学生として、節度ある行動をとり喫煙マナーの向上を心がけてください。

ACCESS



- 山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅(井の頭線)まで13分
(新宿駅からの場合は、明大前駅のりかえ)
- 中央線・吉祥寺駅から西永福駅(井の頭線)まで10分
- 西永福駅から本学まで徒歩7分

CAMPUS MAP



✉ soumu@gac.takachiho.ac.jp

Quarterly 高千穂 Vol.30

Quarterly高千穂 第30号
 発行責任者：吉崎信彦 発行：高千穂大学
 〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1 TEL 03-3313-0141
 発行日：平成23年1月10日 無断転載・複製不可

